

第414号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



生まれ生きる



カット：本多紘子

例年になく梅雨入りが遅れ、今年は空梅雨かと異常気象を心配していましたが、中国地方では6月22日になってようやく本格的な梅雨入りとなりました。皆様、いかがお過ごしですか。

ジメジメとした蒸し暑い天候は老人や赤ちゃんのいる家庭では健康に気づかれますが、水田にいる蛙たちは「クワ！クワ！クワ！」と賑やかに恋の相手を探して一晩中鳴いています。愚僧のお寺の周囲は水田だらけなので、夜はとても賑やかですよ。

便利で静かなところに住みたいと願っている人たちは、田舎の牛や豚や鶏の声をやかましく感じたり、動物の糞の臭いに耐えられないかも知れませんが、2年ぐらい一緒に生活していると鳴き声や臭いにも慣れてくるので不思議です。「慣れる」ということは、私たち現代人の生活にとって大切なことですが、「慣れすぎる」と感動が無くなったり問題点に気づかなくなる弊害もあります。生活習慣病のように、いつの間にか心も身体も蝕まれることもあるので怖いことです。

高齢者や働き盛りの人や若者たちが安心して暮らせる世の中を願いつつも、孤独死や孤立死をする老人が増え、仕事のない中年や居場所のない若者が増えているのは残念で、何とか助け合いたいな。

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

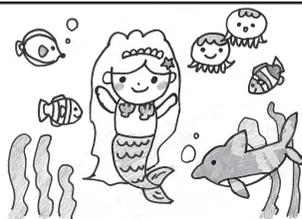
愚僧も団塊の世代に生まれ満75歳になりました。一昨年に医師から心臓が心房細動と診断され、血液がサラサラになる薬を朝晩に一錠ずつ服用しています。飲むのを時々忘れるので、薬に日にちを書き、飲み忘れや飲み過ぎないように注意しています。高齢者の方がたくさん薬を処方してもらい、ご飯も食べられないほど薬を飲む人は近頃は見受けませんが、それでも薬の量が多過ぎる方もあるので心配です。

薬の過剰摂取「オーバードーズ」は高齢者の方の問題ばかりと思っていた愚僧ですが、最近10代の若者の間で深刻な問題となつていいます。10代が薬物中毒で緊急搬送される事態が医療機関で多発しているのです。若者は「嫌なことを忘れたい」といった現実逃避を目的に、規定を遙かに超えた量を一気に服用して意識を失ったり、臓器に負担をかけて、命に関わる症例が増えています。ドラッグストアやインターネット上で簡単に薬が手に入ることも一因で悲しいことですね。

世の中が穏やかで平和あることを願っていても、世界のあちこちで紛争や戦火が絶えないのは悲惨です。人は皆、自分ほど大切なものはありませんが、それと同じように他の人にとっても自分は可愛いのです。人間性の喪失とよく言われますが、「人間」という言葉はお経の中から出た言葉で、その意味は「人が人である間」ということです。人が物や機械の奴隷になったり、腹を立てて鬼になったり、畜生になつたりして、自分を見失っている状態を人間喪失と呼びます。ロシアのプーチン大統領も人間性を喪失して、鬼や畜生になり残念です。

「あなたは何のために生きていますか」と、突然に問われたら返答に困る人が多いと思いますが、あなたは何と答えますか。「親が勝手に私を産んだから仕方なく生きています」とは、答えにくいですね。「人間として幸せになるために生まれてきた」という返答ができれば百点満点ですが、「人間の幸せ」がまた個人個人によって違うので難しいですね。悲しみや苦しみの中にも、多くの人や生き物に生かされてきたのちに感謝して死ねたら幸せかな。合掌（奥原 曇龍）

『何のため生まれ生きるか問われても 人それぞれで違っているよ』 どんりゅう



カット：府川 綾

ともしび説法

日時・七月 三日「水曜日」 午前十時から十二時まで。
八月二十三日「金曜日」 午前十時から十二時まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方

心光寺 倉敷 検索



お釈迦様ものがたり 93

お釈迦様の在世当時、インドは16大国があり、その中で一番の強国がマガダ国でありました。鉄を産出し、農具や武器を生産することが出来たので、新興のマガダ国は強力になり、阿闍世王の時にインドを統一します。

阿闍世王は、領土拡張の野心に燃えていたことを、『大般涅槃経』の書き出しにも見えています。それはお釈迦様が王舎城の耆闍崛山におられたとき、阿闍世王は、大臣ワッサカーラをお釈迦様のもとにつかわして、北隣りのワッサ国を攻めようと思うのがいかにがでしようかと相談させています。

お釈迦様は、このときそばにいて仏を扇いでいたアーナンダに問答されます。「アーナンダよ、お前はワッサの国の人たちがしばしば集会して、(1)正しいことを相談しているのを聞いているか」「聞いています」「それではワッサ国はますます栄え、安泰を保ち、他の国の侵害を受けることはないであろう」。

このようにして、(2)ワッサの人たちが君臣一致し、上下相敬っていること、(3)法と非法とを知り、国の制度に違わないこと、(4)父母によく使え、師長に敬順である、(5)祖先を尊び神々を敬うこと、(6)夫婦男女間の礼節が正しいこと、(7)宗教家たちに対して供養や保護を怠らないこと、以上の7箇条が守られている限りは、ワッサ国は絶対に滅亡することはないであろうとお釈迦様は大臣のワッサカーラに伝えたので、阿闍世王は攻めることを断念したのでした。

しかし後にワッサ国の人々が右の7箇条を守らなくなったので、ついにマガダ国の阿闍世王に攻略されてしまいました。

お釈迦様は、比丘(僧侶)たちも正しい教えを学び、上下一致し、戒律を守り、有能なる善知識に敬順し、正しい意識を持続、梵行をよく守って、欲楽に従わなければ、仏教も衰えないと説いています。合掌(奥原豊龍)

夏祭り花火もあがる川土手を孫と歩めば淡きともしび 田辺多恵子



6月9日(日) 総代さんたちによる本堂の仏具磨き

ともしび法話

梅雨が明ければ猛暑の夏。ジトジトした日本の夏。皆様、いかがお過ごしですか。心光寺ではお盆参りや、お寺でのお盆の合同法要の準備で大忙しです。雑草もたくさん生えて、草抜きも大変。何かと行き届きませんが、お寺に気軽に参り下さい。心光寺新坊守(ぼうもり) 府川 綾

博子前坊守様が昨年の12月30日に満64歳で、隣臓癌という病気で浄土に旅立ち寂しい限りです。お参りに行くと、いつも車を親切に押してくれ忘れられません。倉敷市玉島 橋本ナルミ

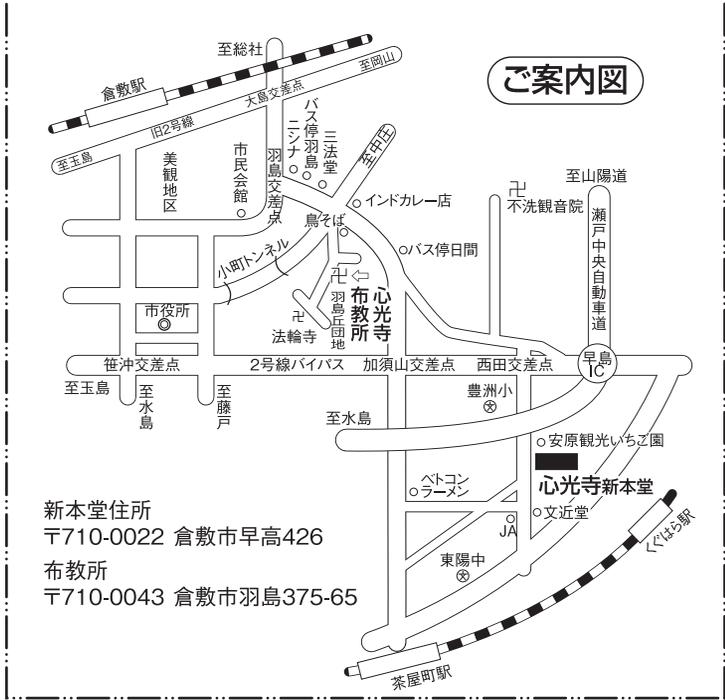
季節の変わり目で、変な天候が続きますがお障りありませんか。お盆参りの準備で何かと忙しいでしょうが、お盆の合同法要ではお世話になります。元気で会いたいですね。岡山市妹尾 藤井 玲子

暑いときのお盆参りは大変です。お寺での8月13・14日午前のお盆合同法要にしたいと、門徒の私たちが助かります。お盆には亡き先祖様を偲びたいものです。倉敷市西富井 網本 健二

ともしび説法

日時・七月 三日「水曜日」 午前十時から十二時まで。
八月二十三日「金曜日」 午前十時から十二時まで。
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り
(宗派を問わず、はじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方が嬉しく思います。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。
倉敷市 大島様 4千円

じとじとの詩

ジトジトした日本の夏がきた
年々に夏の気温が高くなり
日本列島がサウナ風呂
エアコン無ければ熱中症
夕立の代わりに線状降水帯
それでも真夏を乗り越えようよ
汗をかきかきベソもかきながら



カット:吉岡美枝

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「414号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。7月3日のともしび説法には、茶屋町駅西口に9時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は、心光寺までご連絡下さい。合掌 総代長 本家豊彦